

テーマ 『地域を元気にするスポーツの振興』

開催日時・会場

- ✦ 平成24年3月22日（木）午後5時30分から7時30分まで
- ✦ 大町商工会館

参加者

- ✦ 意見交換参加者 23名（5グループ）  
知事、公募の県民：17名、県関係者：5名  
（観光振興課長、スポーツ課長、北安曇地方事務所地域政策課長、どう観光商工建設課長等）
- ✦ 傍聴者 12名



参加者の主なご意見

- ✦ 宿泊を念頭に置いてスポーツのイベントを企画しなければ地域振興として意味がない。
- ✦ 観光に結びつけるときに、地元の間人がスポーツをしないで観光客だけスポーツをするというのはおかしな話だ。県民が、県内で使用できるスポーツ・バウチャー券を配布して振興につなげる事業はできないものか。
- ✦ 子どものうちから、楽しんでスポーツができる環境や教育現場の工夫が必要。
- ✦ 長野県は男女とも日本一の長寿県ということを積極的にアピールする。少子高齢化の時代、3世代で遊びに来て健康になれるプログラム、地元のスポーツ関係者が指導するような仕組みづくりが必要だ。高齢者には観て楽しめるスポーツが、子供や女性向けにはファッション性を高める必要もある。
- ✦ 発信力の強化が必要である。統一して一緒に発信していかなければならない。
- ✦ 白馬はオリンピック開催地であることをもっとアピールすることが大切である。
- ✦ 何かに特化しないといけない。例えば、金メダルを目指した養成学校や山のガイドの養成など、世界でも突出したものを地域も協力して作っていかないと良さが伝わらない。
- ✦ 地元の人が地元の良さに気付いていない。欧米の観光客が日本は四季がある箱庭だと、盆栽のようだと言っていた。長野県ほど四季が豊かで素晴らしい自然を持った所は日本でもほかにない。

会場の様子など



県政タウンミーティングとしては、初めて採用したワールド・カフェ方式の開催でした。

少人数で席替えなどしながら、2時間の開催時間中に多くの参加者と意見を交わしていただく趣旨で行いました。

参加された県民の皆さんからは、時間が短すぎる、もっと長く話したかったなどのご意見を多数いただきました。今後も県内各地域で様々なテーマと方法で開催してまいりますので、ぜひご参加ください。